

## 「地域活動指導員等研修会」事業報告

- 1 事業名 令和4年度地域活動指導員等研修会
- 2 研修内容  
研修1〈講義〉「人権が尊重される社会を目指して」  
筑豊教育事務所 人権・同和教育室 社会教育主事 野田 大樹  
研修2〈講話・演習〉  
「日頃の取組に生きる体験活動の指導方法について」  
苅田町立苅田小学校 校長 宮城 強 氏
- 3 日時 令和4年9月21日(水) 13:00~15:30
- 4 会場 飯塚市第1体育館 (飯塚市枝国 666-1)
- 5 対象 地域活動指導員、各市町村教育委員会社会教育・生涯学習関係職員  
アンビシャス広場・放課後子ども教室等関係者、  
地域の活動に関わるボランティアの方、その他希望する者
- 6 当日の様子



【野田社会教育主事の講義】



【活動を通して自身を振り返る参加者】



【宮城校長先生の講話・演習】



【協調性を育む体験活動】

本研修会は、「アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）が引き起こす人権侵害」と「子どもの協調性を育む体験活動の指導方法」について学んでいただくために、研修内容を企画しました。講話や演習を通して、参加者から「『ふつう』という言葉に差別意識や偏見をもっている感覚はありませんでした。『ふつう』ではなかったら、否定や排除される可能性があることを知りました。」「アクティビティを通じた活動の意味付けや、子どもたちへの価値付けについて大変参考になりました。」等の声が聞かれ、自身の言動を振り返ったり、子どもたちへの支援の仕方を学んだりすることで、相手意識の大切さについて再認識していただくことができました。また、「体験を通してお互いの価値観を認め合ったり、友達と協力して活動したりすることの大切さを学びました。」「学んだことを生かして、どの子どもも安心して参加できるような活動等を仕組んでいきたいと思いました。」という感想がありました。

今回の研修会を通して参加の皆様に、子どもたちが安心して活動することができる環境づくりや、協調性を育む体験活動の指導方法について理解していただくことができました。また参加者の感想にもあるように、本研修会で学んだことを今後の取組に活かしていこうとする意欲を高めることができましたと考えます。